

私たちの隣人は誰？

あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ

(ルカによる福音書 一〇章二七節)



社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会
愛の園 統括園長 信川恒夫

愛の園の理念はこの聖書の言葉です。
さて、私たちの隣人とは誰でしょうか。

旧約聖書に目を向けますと、どのような人たちが、私たちの隣人なのか具体的に書かれています。例えば、レビ記一九章九、一〇節には「あなたがたの土地の収穫を刈り入れる時は、畑の隅々まで刈ってはならない。あなたの収穫の落穂を集めてはならない。また、あなたのぶどう畑の実を採りつくしてはならない。あなたのおぼろげな畑の落ちた実を集めてはならない。貧しい者と在留異国人のために、それらを残しておかなければならない。私はあなたがたの神、主である。」とあります。

旧約聖書に書かれている私たちの隣人とは、単に私たちの隣にいる人ではなく、生活に困っている夫を失った女性や孤児たち、難民や日雇いの労働者、障害者等、自分だけでは生活が困難で、人の助けを必要としている最も小さい人たち、すなわち社会的弱者である

とされています。

日本語で愛と訳された「アハバー、アガペー」という言葉は、「その人をその人として尊重し、大切に対応する」という意味だそうです。愛の賛歌と言われているコリント人への第一の手紙一三章四〜六節の本田哲郎神父の翻訳では、「人を大切にする(愛)とは、忍耐強く相手すること。人を大切にすることは、思いやりをもって接すること。人を大切にすることは、ねたまず、うぬぼれず、思い上がらず、目障りなことをせず、自分の利を求めず、苛立たず、人の意地悪を根に持たず、人を不正に抑圧して喜ばず、共に真実を喜ぶこと」とあります。

特養愛の園は、世の中で私たちの助けを必要としている人たちの自立を支援し、その人らしく生きていくように、二十七年前にこの地に建てられました。社会の高齢化が急速に進む中で、愛の園の役割は益々大きくなってきています。

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」とは、分かり易く言うと「自分が自分として大切にしたいように、相手の人をその人として、大切にしたい。」と言うことです。この言葉を心に刻み、新しい年も喜びと祈りと感謝をもって、私たちの支援を必要としている隣人と手に手をとって、共に歩んでいきたいと思えます。